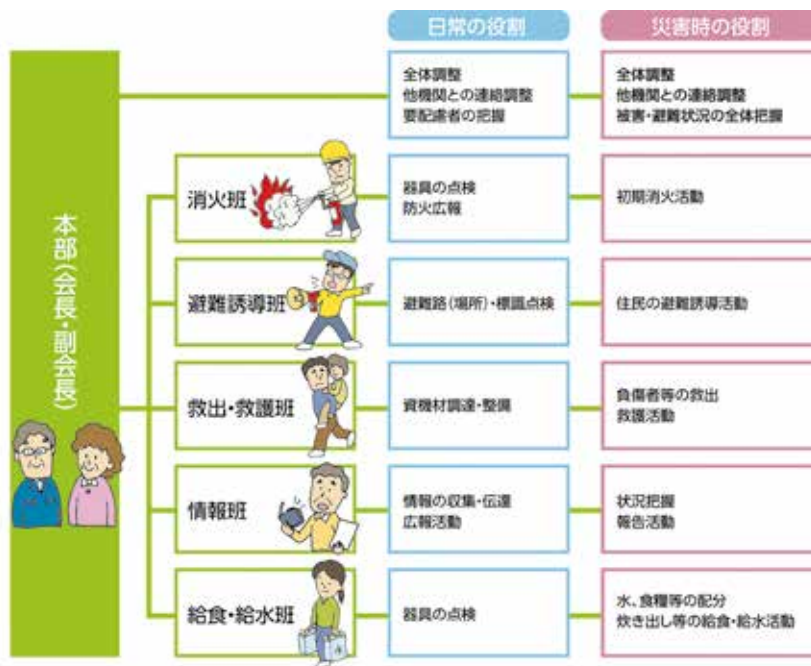


6 巻末資料

6-1 役割分担・防災誘導組織図



6-2 情報収集リスト

情報収集リスト			
情報収集・記入日 年 月 日 記入			
	防災関連施設名	電話番号	住所 施設までの距離
例	〇〇機関	△△-××××	500m
行政関連	役所		
	消防署		
	警察署		
避難所	避難場所 1		
	避難場所 2		
	避難場所 3		
ライフライン	災害拠点病院		
	医療機関 1		
	医療機関 2		
交通機関	JR		
	駅		
	鉄道		
	バス会社		
	タクシー会社		
その他			

1 予備知識と準備

2 初動対応

3 ひと段落した後の対応

4 関連データベース

5 便利ツール

6 巻末資料

6-3 防災気象情報とその利活用

日本で発生する可能性のある災害には様々なものがありますが、ここでは、山梨県において発生のおそれのある地震、火山噴火、大雨・台風などの風水害を取り上げます。日頃から内容を理解し、とるべき行動について考えておきましょう。

地震の場合

地震の被害は、震源の位置、発生日時、および、その時の風の強さなどによって被害の大きさが異なります。

震度と揺れ等の状況（概要）

0		【震度0】 人は揺れを感じない。	1		【震度1】 屋内で静かにしている人の大半は、揺れをわずかに感じる人がいる。	2		【震度2】 屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。	3		【震度3】 屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
4		【震度4】 ●ほとんどの人が驚く。 ●電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ●座りの悪い置物が、倒れることがある。	5弱		【震度5弱】 ●大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ●棚にある食器類や本が落ちることがある。 ●固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	6弱		【震度6弱】 ●立っていることが困難になる。 ●固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ●壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ●耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。	6強		【震度6強】 ●はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ●固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ●大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
5強		【震度5強】 ●物につかまらなさと歩くことが難しい。 ●棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ●固定していない家具が倒れることがある。 ●補強されていないブロック塀が崩れることがある。	7		【震度7】 ●耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 ●耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。						

国土交通省 気象庁 HP より引用

火山噴火の場合

火山の無い国はありますから、外国人旅行者は火山噴火自体を理解できないことがあります。

火山噴火の予兆を察知すると警報が鳴ります。火山付近からの待避を呼びかけたり、噴火口に近づかないように呼びかけます。火山から離れた場所であっても、火山灰による被害が発生するおそれがある場合には、「外出を控える」「火山灰を防ぐものを身に付ける」ように、注意を呼びかけます。

噴火後、噴煙が上がっている時はマスクの着用を促しましょう。

なお、火山噴火が発生するおそれがある場合に発表される警報などの種類、噴火警戒レベル及び、とるべき行動等は以下のとおりです。

噴火警報・予報が発表された場合、外国人旅行者に対し、随時、最新の火山情報を提供し、注意を呼びかけてください。

種別	名称	対象範囲	レベルとキーワード		説明		
					火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
特別警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域 及び それより 火口側	レベル5 避難		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要(状況に応じて対象地域や方法を判断)。	
			レベル4 避難準備		居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要(状況に応じて対象地域を判断)。	
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から 居住地域 近くまで	レベル3 入山規制		居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活(今後の火山活動の推移に注意。入山規制)。状況に応じて要配慮者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等(状況に応じて規制範囲を判断)。
		火口周辺	レベル2 火口周辺規制		火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等(状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断)。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 活火山であることに留意		火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	通常の生活。	特になし(状況に応じて火口内への立入規制等)。

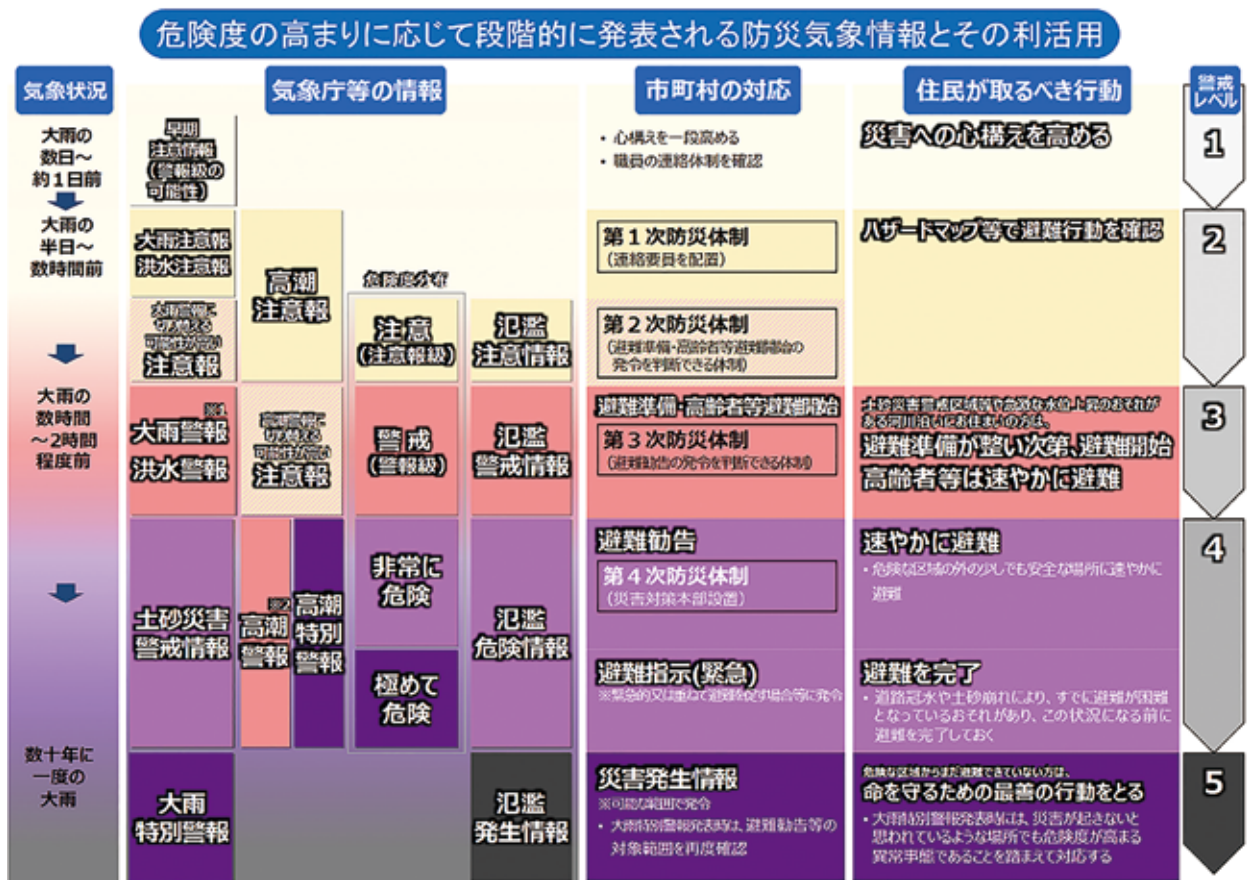
国土交通省 気象庁 HP より引用

風水害の場合

大雨や台風から身を守るためには、情報の収集が大切です。風水害に関する警報・注意報が発表された場合、旅行者に対し随時最新の情報を提供し注意を呼びかけます。

また、大雪や大雨の影響で電車が運転を見合わせる場合があります。交通機関の情報も、影響が収まるまで継続的に提供します。

土砂崩れが発生するおそれがある場合には、「山やがけには近づかない」ように注意を呼びかけます。大雨などによる浸水被害が発生するおそれがある場合には、「河川や地下などの低い場所には近づかない」よう注意を促します。



※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。
 ※2 暴風警報が発表されている際の高潮警報に切り替える可能性が高い注意報は、避難勧告(警戒レベル4)に相当します。

国土交通省 気象庁 HP より引用

6-4 モバイルバッテリーシェアスタンド

旅行者や在住者にとって、災害時の情報取得手段の確保は、喫緊の課題です。

現在では、スマートフォンによる情報収集が世界的に一般的手段となっており、スマートフォンの充電を行うサービスは重要となっています。

山梨県と(株) INFORICHは、令和元年12月に、「ChargeSPOT」を活用した災害時におけるモバイルバッテリー提供とデジタルサイネージによる観光・災害情報の発信協力に関する協定を締結しました。

(設置に関するお問い合わせ先：山梨県観光部 TEL：055-223-1620)

この「ChargeSPOT」を県関連施設、市町村施設、観光施設等への設置を促進することで、県下各地の観光スポットなどで直接観光客に災害関連情報の提供が可能になり、また、災害時には無料でモバイルバッテリーが提供されることで、安心安全に本県を周遊できる環境を確立していきます。



<参考文献>

- ・観光庁「自然災害時の訪日外国人旅行者への初動対応マニュアル策定ガイドライン」
- ・東京都「外国人旅行者の安全確保のための災害時初動対応マニュアル」
- ・(財)山梨県国際交流協会「災害ガイドブック」

外国人旅行者への災害時対応マニュアル

令和2年3月発行

編集・発行 山梨県観光部国際観光交流課